

Special Feature

ハワイアン・ミュージック特集

近年話題のパワースポットやヒーリングスポットが数多く存在する場所としても人気があり、恋人同士や家族連れ、一般観光客の他にも、相変わらずお正月になると有名芸能人がお忍びで訪れる観光地としても不動の人気を誇っているハワイ。中には日本人観光客の多さやワイキキ周辺の人ごみにうんざりして、ハワイを敬遠する人もいるかもしれないが、ワイキキがあるオアフ島だけでなく、ハワイ島、マウイ島、カウアイ島、モロカイ島、ラナイ島、ニイハウ島、カホOLAウエ島の8つの島と100以上の小島からなるハワイ諸島。

まだ大自然が残る島々には得体の知れぬパワーが存在しているかのようで、ハワイを訪れるとなぜか癒され、心身ともにリラックスできるような気がする。それは常夏の島特有の気候のせいかもしれないが、街を歩いていても何処からともなく聴こえてくるようなステイール・ギターやウクレレの音色、そして、穏やかなハワイの風のようなやさしい歌声に代表されるハワイアン・ミュージックがもたらしてくれる癒しの効果によるものかもしれない。

クリスマス前の冬の季節に発行された今号の巻頭特集は、そんなハワイを感じる《ハワイアン・ミュージック特集》。筆者はもちろん、長引く不況の中で“ハワイ旅行”など夢のような話…死語になりつつあるような状況の中、少しでもハワイ気分を味わってもらえればとの願いも込めて、＜伝説のミュージシャン＞＜伝説のウクレリアン＞＜日本のハワイアン伝道師＞＜癒しのハワイアン＞＜スターが歌うハワイアン＞＜ジャズ編＞＜番外編＞、そして、＜不滅のハワイアン＞と題した8つのコーナーに分けて、42枚のアルバムを紹介させていただきました。

ここに紹介したアルバム以外にも、まだまだたくさんの素敵なハワイアン・ミュージシャンや素晴らしいアルバムが存在するので、この特集を機会にそれぞれの癒しのハワイアン・ミュージックに出会ってもらえたら最高です。

ジャズを聴く上でマイルス・デイヴィスやチャーリー・パーカーの名前だけでも知って、できればアルバム一枚だけでも手にとって欲しいと願うように、ハワイアン・ミュージックを聴く上でその名前だけでも小耳に挟んで、できればその音源も聴いてみて欲しい伝説のミュージシャンが存在する。ぜひハワイの音楽の歴史と奥深さを体感して欲しい。

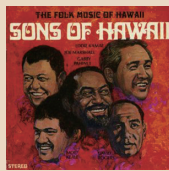
Hawaiian Legends 伝説のミュージシャン



ハワイアン・ギターの王様 ソル・ホオピイ

(ライヴ・レコード/オフィス・サンビーニヤ: HSR-404)

ハワイ音楽の全盛期 1920~30 年代に「最高のハワイアン・ギタリスト」と称されたソル・ホオピイのベスト盤。1926 年のメジャー初録音の音源を含む全 22 曲を収録。



サンズ・オブ・ハワイ サンズ・オブ・ハワイ

(ヤマハミュージックアンドビジュアルズ: YMCP-10008)

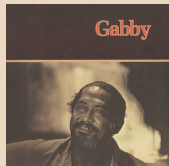
伝説のウクレレ奏者エディ・カマエをリーダーとして、ギャビー・パヒヌイ (g, vo) の他、ハワイ音楽シーン最強メンバーを集めた名グループが 1971 年に発表した名盤。



ベスト・オブ・アルフレッド・アパカ アルフレッド・アパカ

(オーマガトキ: OMCX-1053)

「ハワイ・コールズ」の看板スターとして一世を風靡した伝説のハワイアン歌手＝アルフレッド・アパカ。その多くの女性ファンを魅了した名唱 20 曲を収めたベスト盤。



ギャビー ギャビー・パヒヌイ

(ヤマハミュージックアンドビジュアルズ: YMCP-10004)

名スラック・キー・ギター奏者ギャビー・パヒヌイが 1972 年に発表した 1st ソロで、70 年代のハワイ音楽は全てこのアルバムから始まったと語られる金字塔的作品。



ハワイの伝説 レナ・マシャード

(ライヴ・レコード/オフィス・サンビーニヤ: HSR-438)

「ハワイのソングバード」と称され、ハワイアン史上最高の女性歌手と語り継がれるレナ・マシャード。1920 年代後半から 40 年代後半の全盛期の音源 25 曲を収録。



フェイス・フューチャー イスラエル・カマカウィウォ・オレ

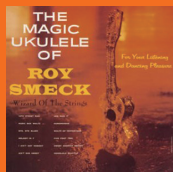
(ラッツバック・レコード/レイ・レコード: LEIR-0046)

1997 年に 38 歳という若さでこの世を去ったハワイを代表するシンガー“イズ”が 1993 年に発表した名盤。ハワイアンのアルバムとして歴代最高セールスを記録。

ポルトガル移民が持ち込んだブラギーニャ (braguinha) と呼ばれる楽器を起源として、ハワイで独自に改良されて現在の形になったとされるウクレレ。ハワイの気候にも最適で、小さな楽器ながらボロンと爪弾いただけでも癒される。今やハワイや日本だけでなく世界中で愛されているウクレレ。そのウクレレを世に広めた名ウクレリアンを紹介したい。

Ukulele Legends

伝説のウクレリアン



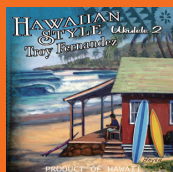
**ザ・マジック・ウクレレ・オブ・ロイ・スメック
ロイ・スメック**
(ユニバーサル・ミュージック：UCCU-9025)

「弦の魔術師」と称され、ギター、バンジョー、ウクレレ、スティール・ギターを卓越したテクニックで弾きこなしたロイ・スメックのウクレレ・スウィング・アルバム。



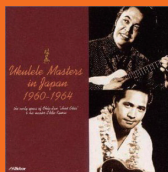
**ヤング・アット・ハート・ビル・タピア・ライブ
ビル・タピア**
(ビクターエンタテインメント：VICP-64771)

2011 年 12 月に世界最高齢のプロ演奏家として 103 歳で天寿を全うした伝説のウクレレ奏者ビル・タピアが、101 歳の時に来日した際のライブ音源を収めたアルバム。



**Hawaiian Style Ukulele 2
Troy Fernandez**
(Neos Production：CD-0267)

超絶テクにより「ウクレレ界の革命児」と称され、ジェイク・シマブクロにも多大な影響を与えたと言われるトロイ・フェルナンデスが 2010 年にリリースしたアルバム。



**ウクレレ・マスターズ・in Japan オオタとエディ・カマエ
ハーブ・オオタ**
(ビクターエンタテインメント：VICG-60404)

「ウクレレの神様」と称される「オータサン」こと、ハーブ・オオタの初アルバムとハーブ・オオタの師匠エディ・カマエの幻の名盤をカップリングした豪華なアルバム。



**ジョー・ジョー・ウクレレ
ジョー・ウクレレ**
(EMI ミュージック：TOCP-70039)

アメリカ本土のホテル、ラウンジ、テレビ等を中心に活躍した名ウクレレ奏者＝ジョー・ウクレレが 1961 年に録音した唯一のアルバム。ジャケットの笑顔も Good。



**牧仲三のウクレレ人生
牧仲三**
(エイベックス・マーケティング：LDCD-50015)

東京都出身。コテコテの日本人ながら、ウクレレ漫談家として「あ〜あ〜あ、やんなっちゃった」のフレーズと共にウクレレを広めた功績は大きい牧仲三のアルバム。

嘗ての日本では大橋節夫、パッキー白片、日野てる子、南かおる、エセル中田等、和製ハワイアン・シンガーが人気の時代があったが、現在もウクレレの人気は根強く、近年ではサザンオールスターズの関口和之氏プロデュースにより 2009 年に発足した「ウクレレビクニックハワイ」も有名。日本のハワイアン伝道師達の存在も見逃せない。

Aloha from Japan

日本のハワイアン伝道師



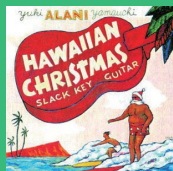
**パッキー白片ハワイ・メモリー since 1968-2002
パッキー白片とアロハハワイアンズ & ジュニア**
(テイチクエンタテインメント：TECE-30298)

昭和に活躍したハワイアン・バンド「パッキー白片とアロハハワイアンズ」のリーダーで、日本のハワイアン普及の功労者パッキー白片の 1968 年発表作の復刻盤。



**決定盤シリーズ 大橋節夫大全集
大橋節夫**
(コロムビアミュージックエンタテインメント：COCP-34021)

日本のハワイアン・ミュージックの草分けと称された歌手 & スチールギター奏者で、戦後日本にハワイアン・ブームをもたらした大橋節夫の 2 枚組 & 全 44 曲収録作品。



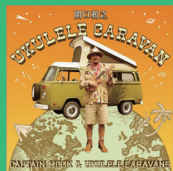
**ハワイアン・クリスマス
山内雄喜**
(リスベクレコード：RES-3)

ハワイアン・ミュージックの第一人者で、名スラック・キー・ギター奏者＝山内雄喜が 1995 年にリリースした全曲ソロによるアルバム。笹尾俊一氏のイラストもいい。



**ウクレレキョシ
キョシ小林**
(ジネオン・ユニバーサル・エンターテイメント：GNCL-1208)

日本を代表するウクレレ奏者 & ウクレレ・マスター＝キョシ小林が、「崖の上のポニョ」「ウルトラマンエース」をはじめ、名曲 13 曲をウクレレ・カバーしたアルバム。



**ウクレレキャラバン
関口和之**
(ビクターエンタテインメント：VICL-63910)

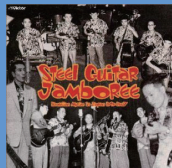
サザンオールスターズのベースリストとしてもお馴染み、「日本ハワイ化計画」を提唱し、名ウクレリアンでもある関口和之が 2012 年 10 月に発表した最新アルバム。



**ハワイアン・クリスマス・ベスト
高木ブー**
(ソニー・ミュージック：MHCL-2153)

ご存知「ザ・ドリフターズ」のメンバーで、ウクレレ奏者としても有名な高木ブーが 2012 年 11 月にリリースした最新アルバム。全 11 曲クリスマス・ソングを収録。

近年“癒し”ということばが聞かれるようになった頃から、ハワイアンやウクレレの楽曲を収めたコンピ・アルバムが頻繁に登場する等、根強い人気を誇るハワイアン・ミュージック。ここでは“癒し”をテーマに人気のコンピ・アルバムやハワイを感じる癒しのアルバムを一部紹介してみました。他にも素敵な作品がたくさんリリースされています。



スティール・ギター・ジャンボリー Various Artists

(ビクターエンタテインメント：VICG-60405)

戦後の日本では心を痛めた国民が癒しを求めてか、空前のハワイアン・ブームが沸き起こった。この作品は当時の日本のハワイアン・バンドの競演を収めた一枚。



アロハ・ヘヴン〜ホアロハ〜 Various Artists

(ビクターエンタテインメント：VICP-65061)

大ヒットハワイアン・コンピレーション・アルバム『アロハ・ヘヴン』から、2011年に現地ハワイでヒットした楽曲 18 曲を収録したシリーズ第 11 作目のアルバム。

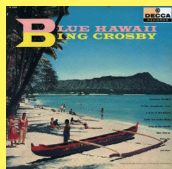


ゆるカフェ〜ハワイ フライアン・ケスラー

(デラ：DLDH-1838)

タイトルとジャケットからも癒しを感じるハワイの人気バンド＝ハワイアン・スタイル・バンドのフライアン・ケスラーによるアルバム。スラックキーギターの音が心地良い。

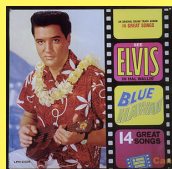
ここ最近大物アーティストによるジャズ・アルバムが話題を呼んでいるが、現在では大物アーティストがハワイアンを歌うなんてことはほとんど聞かれなくなりました…。嘗ては外国のスターは勿論、日本のスターがハワイアン・アルバムを出すことは珍しいことではなく、ここに紹介するアルバムはその一部だが、機会があれば聴いてみて欲しい。



ブルー・ハワイ ビング・クロスビー

(ユニバーサル・ミュージック：UCCU-9006)

「ブルー・ハワイ」＝エルヴィスと思われがちだが、オリジナルは 1937 年に映画『ワイキキの結婚』の主題歌として歌ったビング・クロスビーのもの。そのビングの名盤。



ブルー・ハワイ エルビス・プレスリー

(ソニー・ミュージック：BVCM-35310)

1961 年公開のアメリカ映画でエルヴィス・プレスリーが主演して大ヒットした『ブルー・ハワイ』のサントラ盤。タイトル曲は日本でのエルヴィスの人気を決定づけた一曲。



ハワイアン・ベスト 石原裕次郎

(インディーズ・メーカー：TFC-657)

言わずと知れた昭和の大スターで、若い世代には『太陽にほえろ!』や『西部警察』等の刑事ドラマのボス役で知られる石原裕次郎。その裕次郎のハワイアン・ベスト。

The Walker's 6

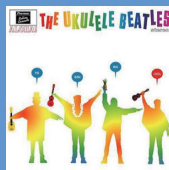
Hawaiian Healing 癒しのハワイアン



Hawaiian Style Christmas Various Artists

(LD&K Records：LRTCD-064)

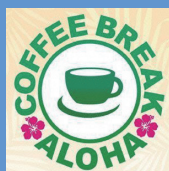
17 組の一流ハワイアン・ミュージシャンがクリスマス・ソングをカヴァーしたアルバム。サウスボーでウクレレを爪弾く女性のジャケットも素敵。クリスマス時期に最適。



ウクレレビートルズ～4弦はアイドル～ Various Artists

(ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント：GNCL-1093)

ウクレレ専門フリーペーパー『Rolling Coconuts』の呼びかけで集まった総勢 16 組のアーティストが、ウクレレでビートルズをカヴァーした 2003 年のアルバム。

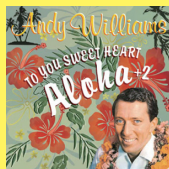


コーヒー・ブレイク・アロハ Various Artists

(EMI ミュージック：TOCJ-66574)

デジタル配信コンピで異例の大ヒットを記録した『コーヒー・ブレイク』シリーズから、ハワイアンをフィーチャーした 2012 年リリースのアルバム。2 枚組、全 20 曲収録。

Star Hawaiian スターが歌うハワイアン



アンディ・ウィリアムス〜キラウエアの宵 アンディ・ウィリアムス

(ティエックエンタテインメント：TECH-20228)

アメリカのポピュラー歌手アンディ・ウィリアムスのアルバムで、代表曲の「ハワイの結婚の歌」と共に全米でベスト・セラーを記録した永遠の名盤。全 14 曲収録。



Taj Mahal and the Hula Blues Taj Mahal

(Tradition & Moderne：T&M-009)

「スター」と呼ぶには若干無理があるかもしれないが、ブルースを基本に様々な伝統音楽の要素を盛り込んだ作品で知られるタジ・マハールの 1997 年のアルバム。



ハワイの休日 加山雄三

(ドリーミュージック：MUCD-1006)

「若大将」のニックネームと共に昭和のスターとして映画に歌に大人気を誇った加山雄三の 1966 年の作品。湘南のイメージが強い若大将がハワイアンをベースに歌う。



ブルー・ハワイ・ジャズ・ミュージシャンによるハワイアン集 Various Artists

(ユニバーサル・ミュージック：UCCU-80005)
ルイ・アームストロングがサイ・オリヴァー楽団、アンディ・アイオナのアイランダーズ、ザ・ポリネシアーズに残した音源やビング・クロスビーの音源等、全23曲収録の作品。

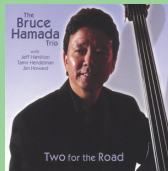


ライル・リッツ・ブルース・ジャズ・ウクレレ・ハワイ・アロハ・ウケ？ ライル・リッツ

(ユニバーサル・ミュージック：UCCU-9002)
ベーシスト&スタジオ・ミュージシャンとして活躍したライル・リッツが、見事なウクレレ・ジャズを披露した1958年のアルバム。90年代からハワイに移住している。

Jazzy Hawaii ジャズ編

嘗てハワイがジャズのメッカだった時代があった。現在のハワイでジャズを聴ける場所は数えるほどしか存在していないが、決してジャズが死んでしまったわけではない。★本誌の夢のひとつは「ハワイジャズ化計画」です！



Two for the Road The Bruce Hamada Trio

(Aloha Music International：DCCD-1000)

ハワイ・ホノルル出身のジャズ・ベーシスト&ヴォーカルのブルース・ハマダが2006年にリリースしたアルバム。現在もハワイで活躍する真のジャズ・ベーシスト。



Authentic Hawaiian Guitar Hawaiian Trio & Taki

(Playasound：PS-65027)

こちらはある意味「ジャケ買い」とも言えるアルバム。スティール・ギターをフィーチャーした心地良いアルバム。2004年にリリースされた輸入盤で、全20曲収録。



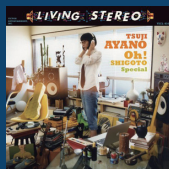
ハワイアン・ヴィンテージ・コレクション サーファーズ

(ビクターエンタテインメント：VICP-61978)

1950~60年代に活躍したハワイアン・コーラス・グループで、エルヴィスの『ブルー・ハワイ』にもコーラスで参加したサーファーズのベスト盤。レトロなジャケットもいい。

Extra Edition 番外編

こちらは独断と偏見で選ばせてもらった《番外編》ハワイを感じるアルバム。《セクシー編》というよりモロに見せちゃったジャケットに魅せられた一枚からサーファーズの一枚。歌声とウクレレに癒されるつじあやのも外せない。



Oh! SHIGOTO Special つじあやの

(ビクターエンタテインメント：VICL-63941)

ハワイアンではないが、眼鏡をかけたルックスとウクレレの弾き語りというスタイルで人気のつじあやのが、“お仕事”を通じて制作した最新アルバム。全10曲収録。

歴史あるハワイアン・ミュージックは現在もしっかりと息づいており、様々なアーティスト達によって受け継がれている。ここに紹介する6組のアーティスト以外にも、素敵なアーティストや素晴らしいアルバムが多数存在している。聴いているだけで癒され、不思議なパワーをもらえるような音楽＝ハワイアン・ミュージックは永久に不滅です！

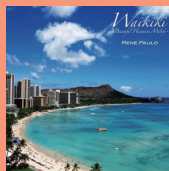
Hawaiian Now! 不滅のハワイアン



Pahinui Hawaiian Band Pahinui Hawaiian Band

(Keala Records：SKCD-1227)

偉大なスラック・キー・ギタリスト、ギャビィ・パヒヌイの息子シリルが仲間4人で組んだバンド＝パヒヌイ・ハワイアン・バンドが2012年にリリースした最新アルバム。



ワイキキ・ビューティフル・ハワイアン・メロディー～ レネ・パウロ

(リスペクトレコード：RES-183)

60年代からワイキキで活躍してきたハワイを代表するラウンジ・ピアニストのレネ・パウロが2002年にリリースしたアルバム。ピアノに加え、ジャケットの美しさにも感動。



パイナ KONISHIKI

(ビクターエンタテインメント：VICP-64076)

日本でもお馴染みハワイ・オアフ島出身の元関取で、外国人初の大関とし大活躍した小錦ことKONISHIKIが2004年に多数のゲストを迎えてリリースしたアルバム。



Haliu - Volume One Kupaoa - Lihau and Kellen

(© 2012 Kupaoa Store)

2009年の「ナ・ホク・ハノハノ音楽祭」で最優秀賞を受賞した男女ヴォーカル・デュオ「クーパオア」のアルバム。Lihau (女性)はウッドベース奏者でもある。



シンガー・ソングライター・ジョージ・ジョージ ジャック・ジョンソン

(ユニバーサル・ミュージック：UICY-20298)

ハワイ・ノースショア出身のシンガー・ソングライターで、10代の頃はサーファーとしても名を馳せたジャック・ジョンソンが手掛けた映画『おさるのジョージ』のサントラ盤。



グランド・ウクレレ ジェイク・シマブクロ

(ラッツパイク・レコード/レイ・レコード：ELEIR-0120)

ハワイ・ホノルル出身、日系5世のアメリカ人ウクレレ奏者ジェイク・シマブクロが2012年11月にリリースしたばかりの最新アルバム。現在一番人気のウクレレ奏者。